

●1分で見える世界景気／2016年10月後半から見た11月動向

※日本は原油価格底打ちを追い風にできるか？ グローバリズムとナショナリズムのせめぎあいの中をぶれずに舵取りできるか？

欧
州

英国

- 足元の経済は輸出増で底堅い
- △**ボンド安で消費者物価指数が上昇**

3月までに離脱通告

欧州景気はゆるやかな回復

だが、あまりさえない

EU市場でVWがシェア低下
(22%台、かつては25%台)

ドイツ銀行不安は小康状態

● **欧州中銀**
量的緩和延長を12月に判断

中国 大借金と格闘中

+6.7%
7-9月GDP 前年同月比
2期連続横ばい、公共投資、過熱感のある不動産が下支え

整理、淘汰
過剰生産設備

2.15兆円
ネット金融による資金調達での不動産購入が拡大

米国

● **F R B「9月利上げ先送り決定」**
・12月に利上げの影響がどの程度か予想できず

大統領選後の政治は内向きか？

景気の見立て、難しい

- △9月雇用増15.6万、9月失業率5.0%
- 平均賃金2.6%増（前年同月比）

グローバリズムとナショナリズムのせめぎあい

新興国→金融緩和傾向

※ 原油価格下落で恩恵を受ける国と受けない国に分かれる中、金融緩和が強まる

- ・トルコ金利据え置き
- ・ブラジル金利下げ、インドネシア金利下げ、インド利下げ、フィリピンはペソ不安定でペソ安
- ・タイ国王の死去で景気停滞リスク
- ・ミャンマー経済制裁解除

日本

原油価格底打ち→経常黒字減少→円安→景気上昇へとつなげられるか？

- △インバウンド景気、自動車北米市場一服感
- 震災復興、人材派遣、情報、家電上向き

● **日銀**
金融緩和が量から金利へ

- ①短期金利（-0.1%）②長期金利を0%へ誘導決定
- ①②を必要に応じて引き下げる

※住宅ローン、アパートローン金利の上昇懸念？

緩和マネー

緩和マネー